

## 加西ふるさとミーティング 2017 夏 質問等一覧

市内 10 小学校区で開催しましたタウンミーティングでは、「市民が求める病院、地域に必要な医療とは」と題し、自治会運営を担われている皆さまを中心に参加していただきました。会場でお聞きした提案や意見をお知らせします。

今後の病院運営に可能な限り反映させてまいります。

| 校区名            | 開催日時・場所  | 参加者数  |
|----------------|--|---|
| 賀茂小学校区         | 7 月 13 日 (木) 19:30~21:00<br>賀茂会館   | 35 名  |
| タウンミーティングでのご意見 |  |   |
| No             | 意見概要   | 回答  |
| 1              | 昭和 22~24 年の団塊の世代で、一番人口が多い年代で、70 歳ぐらいが健康寿命といわれており、あと 10 年は病院にお世話になると考えると、将来が非常に心配になってくる。加西病院は通院に便利であり、ぜひ残していただきたい。急性期から回復期のベッドを増やしていくことには大賛成。私達の年代からいうと介護施設も満杯で入れないのでと心配するので、ぜひ進めていただきたい。 | 地元には病院がないと困るという話は今日一番お聞きしたかったことなので感謝申し上げます。ここに来られている元気な方の大部分は急性期だけで十分だと思いますが、問題は 3 分の 2 の方が 75 歳以上という形になると、胃がんの手術をしたけど弱ってしまったり、元々いろんな病気を持っている方が骨折で入院してきたという場合には、2 週間や 3 週間で物事は解決しなくなります。そういう場合には、その間を病院で過ごしていただき、リハビリをして元気になって家に帰っていただく、あるいは介護施設に急かされずに移っていただくという意味合いで地域包括ケア病棟をつくっているので利用してもらいたい。 |
| 2              | 両親がお世話になっているが、去年は地域包括ケア病棟が出来ていたのが急性期のあとに入れた。それまでは、加西市には回復期の施設がほとんどないので   | 現在の回復期の病棟の状況を紹介します。急性期の治療を終え病状が安定した患者さんが在宅復帰支援を目指すための病棟です。リハビリをして体力回復する期間や退院に向けての家屋の改修期間、ターミナルでの  |

|   |   |   |
|---|---|---|
|   | <p>で、違うところ変わらないといけなく、紹介してもらおうところが遠いところにならざるを得ない。その意味で回復期を手厚くしてもらおうのは非常にありがたい。加西市内に急性期だけでなく回復期も含めた病院を確保してほしい。</p>  | <p>ホスピスへの転医までの期間などで利用されています。病棟の雰囲気も、デイサービスのように集団で食事をしたり、歌を歌ったり、集団でリハビリをして運動したり、明るく笑顔もあり楽しく利用されています。</p>   |
| 3 | <p>医師不足のことばかり言われているが、私が平成3、4年にある国立大学の病院勤務の時に、看護部長が一番困っていたのは毎年50～60人看護師さんを採用しても、年度末にそれらの人が辞めていく。看護部長は8月くらいに西日本の看護学校等に就職の関係で走りまわっていた。もし看護師さんが足りなければ、ベッド数を減らさないといけない事態も考えられると思うが、加西病院はその点大丈夫か。</p> | <p>加西病院の看護師は医師や他職種との関係が良く、働きやすいということで、全国の離職率が11%ぐらいですが、加西病院は4.5%くらいと半分以下になっています。辞める人が少なく、来年度も広告を出したが2名しか採用できないような状態です。</p>  |
| 4 | <p>患者が減っているということで、地道に患者の立場に立った病院の体制、職員の意識づくり、加西病院に行ったら良かったと言われるような病院にすることで患者が増えると思う。</p>  | <p>原点に戻って、何のために加西病院があるのかというのをみんなに問い直すと、その中には、患者さんの接遇の問題もあり、可能な限り救急患者を受け等、今いるメンバーで市民の医療ニーズに応えるための努力をしていきたい。</p>  |
| 5 | <p>声帯にポリープが3つ出来ており切除したいので加西病院を紹介してもらったが、ここではできませんと言われて新日鉄の病院を紹介されたが、そこでも難しいので他に行ってくださいと言われて。京都医大で手術ができますということになったが、やっぱ</p>  | <p>同じ疾患であっても難しさは非常に変わってきます。残念ながら今の話をお聞きしますと、簡単なポリープであれば加西病院でも対応できますが、難しければ難しいほど他の病院に行かないといけません。利便性の問題もあるので、どの疾患でもよければ加西病院にまず相談していただいて、加西病院でできるものはさせていただき、できないものはできる</p> |

|   |   |  |
|---|---|--|
|   | <p>り近いところで手術をしてもらいたい。いまだにポリープを持ったままです。今の医療の声帯ポリープの切除手術はどのようになっているか。</p> | <p>ところの施設を紹介させていただくという形で住み分けをしています。</p>  |
| 6 | <p>平成 28 年度に 11 億 5 千万円を市から繰り出しを受けているが、近隣の病院の繰り出し状況を教えてほしい。</p>         | <p>北はりま医療センターは三木市と小野市から合わせて 17 億円出されています。加古川中央市民病院（600 床）は 18 億 4,800 万円、加東市民病院は 5 億 7,500 万円、西脇病院は 9 億 9,600 万円、高砂市民病院は 12 億 5,500 万円となっています。</p> <p>1 床当たり直すと、加西病院は 440 万円、加東市民病院は 450 万円、北はりま医療センターは 380 万円、西脇病院で 310 万円、加古川中央市民病院で 310 万円、高砂市民病院で 580 万円となっています。</p> |
| 7 | <p>加西病院がなくなってしまうと本当に困る。人間ドックを充実させてもらいたい。がんも早期発見で治るようになってきている。</p>       | <p>人間ドックの拡充については計画しています。ドクターが減ると人間ドックを診るのも医者の部分で少し制限をかけていましたが、先月から非常勤で人間ドックのためのドクターも来てもらうようになったので、少しずつ枠を増やし、人間ドックを拡充していきたい。</p>  |